

小型船舶用粉末消火器の型式承認試験基準

製品試験					
試験方法		判定基準		備考	
1		容器内容量計測	1		仕様書と照合する。
2	1	有効継続放射時間及び有効放射距離の計測 放射時のノズル姿勢を高さ 1 m の所に水平に保って放射し、消火剤の到達距離が 3 m を越してから計測を開始し、連続放射を確認しつつ、消火剤の到達距離が 3 m 未満になった時、計測を終了する。	2	1	消火剤の到達距離 3 m 以上の時間が 7 秒以上であること。
3	1	消火剤の散布状態の計測 前項の試験終了後の消火剤の散布状態を計測する。	3	1	仕様書と照合すること。
4		起動より放射までに要した時間計測	4		同上
5		放射後の消火剤の残量計測	5		同上
6	1	容器及びホースの残量計測 容器及びホースに 4 0 における閉そく起動圧力の 1.2 5 倍に等しい水圧を 5 分間加え、異状の有無を調べる。	6	1	水漏れ等の異状がないこと。
7	1	バルブ部の耐水圧試験 バルブを試験用容器に取付け、容器内に 4 0 における閉	7	1	同上

		そく起動圧力に等しい水圧を加え、バルブ部の弁の異状の有無を調べる。			
8		閉そく起動圧力試験	8		
	1	常温でノズルを閉そくしたまま炭酸ガスを放出した時の容器内圧力を計測する。		1	仕様書と照合すること。
9		消火試験	9		参考試験
	1	普通火災 3.5×3.0×70cm の杉気乾材を70cm の立方体に積み上げ、ガソリン 1.5l をふりかけて火をつけ、3 分間予燃時間をとった後、消火器で消火する。			
	2	油火災 消火器の能力に応じ、3cm の厚さのガソリン 18l に火をつけ、1 分間の予燃時間をとった後、消火器で消火する。			
10		容器外面の赤色塗装	10		
	1	容器外面の赤色塗装部分の面積を計測する。		1	赤色部分が、表面積の 25% 以上であること。